表 ウクライナ危機の政治的解決に関する中国の立場

	項目	主な内容
1	各国の主権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・国連憲章の趣旨と原則を含む、公認された国際法を厳守し、すべての国の主権、独立、領土の完全性を適切に保証する。 ・国家は国の規模、強さ、貧富に関わらず平等であり、それぞれが国際関係の基本的な規範を共同で維持し、国際的な公正と正義を守る必要がある。 ・国際法は平等かつ統一的に適用されるべきであり、ダブルスタンダードを取るべきではない。
2	冷戦思考の排除	<ul style="list-style-type: none"> ・一国の安全保障は他国の安全保障を損なってはならず、地域の安全保障は軍事グループの強化または拡大によってはならない。 ・各国の正当な安全保障上の利益と懸念は重視され、適切に解決されるべきである。 ・共同の、包括的、協力的、持続可能な安全保障の概念を堅持し、世界の長期的な安定に焦点を当て、バランスのとれた、効果的で、持続可能なヨーロッパの安全保障の枠組み構築を促進し、自国の安全を他国の危険の上に打ち立てることに反対し、陣営対立の形成を防ぎ、ユーラシア大陸の平和と安定を共同で守るべきである。
3	停戦、戦闘の終了	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争に勝者はいない。各当事者は理性と自制を維持し、火に油を注がず、衝突を激化させず、ウクライナ危機をさらに悪化させたり、制御不能となることを防止し、ロシアとウクライナが互いに歩み寄ることを支援し、可能な限り早期に直接対話を再開させ、徐々に事態の沈静化と緩和を進め、最終的に全面停戦を達成すべきである。
4	和平対話の始動	<ul style="list-style-type: none"> ・対話と交渉は、ウクライナ危機を解決する唯一の実行可能な方法である。危機の平和的な解決に資するあらゆる努力が奨励され、支援されるべきである。 ・国際社会は和平を促し対話を促進するという正しい方向を堅持し、紛争の各当事者が危機の政治的解決への扉をできるだけ早く開くことを助け、交渉を再開するための条件を整え、プラットフォームを提供すべきである。中国はこの点で引き続き建設的な役割を果たす。
5	人道危機の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・人道危機の緩和に資するすべての措置が奨励され、支援されるべきである。 ・人道行動は、中立性と公平性の原則を順守し、人道問題の政治化を防止しなければならない。 ・民間人の安全を適切に保護し、戦闘地域から民間人を避難させるための人道回廊を設立する。 ・関連地域への人道支援を強化し、人道状況を改善し、迅速かつ安全でバリアフリーの人道アクセスを提供し、大規模な人道危機を防ぐ。 ・紛争地域への人道支援における国連の調整的役割を支援する。
6	民間人と捕虜の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争当事者は、国際人道法を厳守し、民間人や民間施設への攻撃を避け、女性、子供などの紛争被害者を保護し、捕虜の基本的権利を尊重すべきである。 ・中国は、ロシアとウクライナの間での捕虜交換を支援しており、それぞれがこのためにより有利な条件を作り上げるべきである。
7	原子力発電所の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力発電所などの平和的な核施設への武力攻撃に反対する。 ・原子力安全条約およびその他の国際法を順守し、人為的な原子力事故を断固として回避するようそれぞれに呼びかける。 ・国際原子力機関の、平和的原子力施設の安全とセキュリティを促進するための建設的な役割を支援する。
8	戦略的リスクの減少	<ul style="list-style-type: none"> ・核兵器は使用してはならず、核戦争はおこしてはならない。 ・核兵器の使用、または使用するという威嚇に反対すべきである。 ・核拡散を防止し、核危機を回避する。いかなる国家のいかなる状況下での、生物化学兵器の開発および使用にも反対する。
9	食糧の国外輸送の保障	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが、ロシア、トルコ、ウクライナ、および国連によって署名された黒海穀物輸送イニシアチブをバランスの取れた、包括的かつ効果的な方法で実施し、国連が重要な役割を果たすことを支援すべきである。 ・中国が提案した国際的な食糧安全保障協力イニシアチブは、世界的な食糧危機に実行可能な解決策を提供している。
10	一方的制裁の停止	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な制裁と極度の圧力は、問題を解決できないだけでなく、新たな問題を生み出す。 ・安全保障理事会の承認を経ない一方的な制裁に反対する。 ・関係国は、他国に対する一方的な制裁や「ロングゲーム管轄」の乱用をやめ、ウクライナ危機を和らげる役割を果たし、また、発展途上国が経済を発展させ、人々の生活を改善するための条件を作り出すべきである。
11	産業チェーン・サプライチェーンの安定確保	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が既存の世界経済システムをしっかりと保護し、世界経済の政治化、手段化、武器化に反対すべきである。 ・危機の波及効果を共同で軽減し、国際的なエネルギー、金融、食糧貿易、輸送などの協力が妨げられ、世界経済の回復が損なわれるのを防止する。
12	戦後復興の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会は紛争地域の戦後復興支援措置を取るべきである。 ・中国はこのために支援を提供し、建設的な役割を果たす。

(出所) 外交部